１　南洋アグリ株式会社

【代　　表　　者】代表取締役　甲斐　大嗣
【所　　在　　地】宮崎県西都市妻町二丁目６６番１号
【業　　種】農業

【経営革新計画承認日】令和８年９月３０日
【経営革新承認期間】５年
【経営革新計画テーマ】
「国産・安全」にこだわった高栄養・高嗜好なサラブレッド向け新牧草の生産と販売

【経営革新計画の概要】
弊社は、令和 5 年の創業以来、農作物の生産・販売を行うとともに、南洋物産株式会社と連携し、新品種牧草「バナホースグラス」の栽培及び品種改良に取り組んできました。

バナホースグラスは、南アフリカ原産の熱帯性多年草である「Bana Grass（バナグラス）」を基に、南洋物産株式会社が 2022 年に輸入し、栽培期間中に農薬を使用しない栽培方法の確立や品種改良を通じて開発を進めてきた新品種の牧草です。

これまでの栽培実績を通じて、生産技術や栽培ノウハウが蓄積されたことから、新規事業として、輸入飼料への依存度が高い国内のサラブレッド向け飼料市場を対象に、「国産」「栽培期間中の農薬不使用」「高い嗜好性」「優れた栄養バランス」を特徴とする競走馬用牧草及びその加工品の生産・製造・販売に取り組むこととしました。

弊社では、バナホースグラスの特性を生かし、競走馬の健康維持やコンディション管理に重要な栄養バランス、消化状態及び腸内環境に着目した品種改良と栽培技術の研究を進めています。特に、収穫時期による栄養成分の変化や、牧草の柔らかさ、消化性、嗜好性などを研究し、競走馬に適した高品質な国産飼料の開発を目指しています。

さらに、競走馬が摂取しやすい若刈り牧草や細断牧草に加え、保存性や輸送効率、給餌時の利便性を高めるため、乾燥牧草・牧草ペレット・高栄養価サプリメントなどの加工製品についても研究開発を開始しています。これにより、競走馬の成長段階や飼養目的、健康状態に応じた多様な飼料製品の提供を目指します。

また、本事業は、輸入飼料への依存度を低減し、国内での飼料生産・供給体制の強化に寄与するものです。国産牧草の生産拡大によって、海外からの長距離輸送に伴うCO_2排出量の削減にもつなげ、政府が推進する GX（グリーントランスフォーメーション）戦略の方向性に沿った、環境負荷の少ない持続可能な農業の実現を目指します。

今後は、バナホースグラスの品種改良、栽培技術の高度化、加工製品の開発及び生産体制の拡充を進めることで、競走馬の健康と競技パフォーマンスを飼料面から支える、新たな国産高品質牧草ブランドの確立を目指してまいります。

（参考）バナホースグラスについて

バナホースグラスは、南アフリカ原産の Bana Grass を基に国内で品種改良された新たな牧草品種であり、令和 7 年 8 月 28 日付で農林水産省より品種登録出願が公示されています。C4 植物特有の高い光合成効率と成長力を有し、約 100 日で最大 4 メートル程度まで成長するとともに、刈取り後も再生するため、繰り返し収穫できる高い生産性を有しています。

また、若刈りした上部はタンパク質含有量が 16～18%程度と高く、茎が柔らかく甘みがあることから馬の嗜好性にも優れており、競走馬向けの高付加価値な粗飼料としての活用が期待されます。さらに、宮崎県内で農薬を使用せず栽培を行うことで、安全性と生産履歴の明確な国産飼料として、サラブレッドの飼料の大部分を占める輸入牧草との差別化を図ることができると見込んでいます。加えて、高い成長力による CO_2 吸収効果が期待されるほか、飼料として利用しない幹部分についてもバイオマス資源として活用することで、植物全体を有効利用した循環型生産が可能であり、「高栄養・高嗜好性」、「国産・安全性」、「高い生産性」、「環境負荷低減・資源循環」を併せ持つことが、既存の輸入牧草等にはないバナホースグラスの特徴です。

【生育したバナホースグラスの様子】



約９割以上の飼料を輸入牧草に依存する競走馬用牧草に対して、当社は栽培期間中に農薬を使用しない安心安全な牧草の国産化を目指しています。日本政府の目指す GX 戦略の CO2 削減対策としても大きく貢献していきたいと考えています。JRA 関係者の皆様、競走馬育成関係者の皆様、競走馬主の皆様、競走馬ファンの皆様のご指導ご鞭撻を賜れますように宜しくお願い申し上げます。